

都市型住宅地における集会所を 拠点とした「健康交流」促進に関する アクションリサーチ ー地域活動開始期のプロセスと効果ー

石丸 美奈 氏

千葉大学大学院看護学研究科 准教授



1.背景

行政と大学とのパートナーシップのもと、住民主体の活動「地域の和・輪・環の会」が平成27年度に立ち上がった。定期的なワークショップを実施する過程で、会のメンバーはいわゆる元気高齢者が多いが、生活が便利であると思う一方で、人とのつながりや、介護や災害、老後の暮らしに不安を感じていることが明らかになった。

2.目的

本活動は、「住み慣れた地域で最後まで自分らしく暮らす」ことを目指して、集会所を拠点に、元気高齢者の健康づくりと交流を通して地域包括ケアの推進を目指すアクションリサーチを行う。集会所の環境を整備し、地域の医療・保健・介護の専門職と連携しながら住民の「健康交流」を促す地域活動のプロセスを記述し、効果検証することを目的とする。

3.計画

千葉市中央区東千葉地区をフィールドに、住民・行政職員・大学教員がパートナーシップを組んだ「地域の和・輪・環の会」で、アクションリサーチを実施する。前年度に住民自身が考えたプロジェクトを基に、以下を実施する。

(1)健康づくりと交流促進

運動プログラム、在宅医療・介護の勉強会など

(2)効果検証のための質問紙調査等の実施

地域活動開始初期であるこの1年間の「健康交流」の効果を、健康及び参加と活動、ネットワークの広がりと深まりの観点から検証する。

(3)集会所の環境整備

集会所が健康づくりと交流促進の場づくりとなるよ

う環境を整える。

4.期待される効果

地域の課題解決への寄与及び、地域包括ケア実現のための住民主体の地域活動開始期の方法論を明確化することで他の都市型住宅地への応用が期待できる。